

# 秋の行事あれこれ

## ～楽しかった 長寿とクリスマスを祝う集い～ 12月2日

「元気でやっていたかい？」とはるかぶりに会った友たちと声を掛け合っている姿が会場のあちこちで見られました。懐かしい顔に会えるって、嬉しく楽しいものなのですね。多くの人から参加して良かったといわれました。

「保育園から小学校・中学校と全校児童で歌う『ふるさと中条』はやはりいいですね！聴いていると生きる力が生まれてくるような感じになるの。」と話してくれた人もいました。子ども達からのプレゼントで元気ももらえました。

長寿とクリスマスということで小さな子どもからお年寄りまでいろんな人たちが集まりました。お互いのことを知り合い絆を深めていくよい機会になりました。

社会福祉部・女性部・食改・事務局のみなさんからの素敵なプレゼントで、皆が楽しいひと時を過ごせました。ありがとうございました。

こういう機会を大事にしていきたい、と感じました。

(高齢者副部会長 上條辰雄)



## 中条地区住民自治協議会だより

長野市中条2549-2 電話 267-1020 (代)

平成28年12月22日  
第 22 号



### 会長あいさつ 中条地区住民自治協議会長 上條勇夫

今年も残りわずかになりましたが皆様お変わりございませんか？

本年は、熊本・鳥取の大地震や再三の大型台風の豪雨により、全国各地で相次いで大きな災害が発生しましたが、幸い中条地区は被害も最小で済み何よりでありました。

また、11月下旬には異常に早く初雪がきたので年末寒波がちょっと心配ですが、このまま平穏に年越しのできることを願っております。

さて、私たちの中条地区住民自治協議会は、3年来検討を進めてまいりました、

懸案の組織のNPO法人化を本年9月13日の設立総会において、可決承認して頂きました。現在、長野県へ認可申請中で、来年3月までには認証の見込みであります。

法人化で、人口減少が続く中条地域の課題がすべて解決する訳では有りませんが、今までより住自協に携わる人を一人でも多くし、地区外にまで幅広く自主財源と支援者の確保を求めることが出来るようになり、法人化は、人口減少をくい止め、地域の活性化を推し進める大きな武器になると考えています。

2017年度は、NPO法人を新たな出発年とし、多少人口は減っても、高齢者が多くなっても、元気で明るく安全で住みよい「ふるさと中条」の創生に、新たな第一歩を踏み出す年になることを期待し、住民の皆様にはご健勝にて新年を迎えられることをご祈念申し上げます。



エコサークルさんの協力もあり、古布は720kg集めることができました。ありがとうございました。

## 第2回 資源回収 11月27日

去る11月27日の第2回資源回収には、住民各位の全面的なご理解とご協力のもと、今回は古着を含め24,101kgの回収ができました。前回と合わせ43,471kg、金額にして約39万円の収入が確保でき、住自協の貴重な財源を得ることが出来ました。改めて住民各位に厚く御礼申し上げます。

この貴重かつ大切な住自協事業を、次年度以降も継続的に進めていこうと考えておりますので、何かとご面倒をおかけしますが、この趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(環境衛生部会長 早河群造)

## 七二会・小田切・中条3地区交流会開催 11月18日

三地区の役員等が小田切住自協(当番幹事)に集合し、標記交流会を行いました。

今年は、三地区に派遣されている地域おこし協力隊員の活動報告と市民生活部長の講話を内容とするものでした。

三地区に派遣されている協力隊員からは、現在取り組んでいる活動内容では任期切れの3年後に定住、移住するには経済的にかなり困難で、定住のための生活手段は別途考えている旨の発表や中条地区の瀧田隊員からは「農家民泊の経営を目指しているが、地区内の空き家で適当な物件が見つからず大変苦慮している。参加者のみなさんの支援をお願いしたい」旨の発表もありました。また、生活部長からは市が現在中山間地域へ対応している制度などの説明がありました。来年は七二会地区で開催予定です。(事務局長 小林)

～編集後記～ 今年も天候不順に悩まされた一年だった気がします。運動会も残念ながら2年連続雨で中止「お湿りがほしいなあ」と思っていたら、時期がずれての長雨と強風。ハゼ棒が一斉に倒れている田を目にした時は、唖然としてしまいました。自然の力の前に、人間って無力なんだなあ。でも！負けないぞ！・・・来る年は良い年でありますように。皆さまよいお年をお迎えください。

発行：中条地区住民自治協議会 E-mail:nakajyo@ngn.janis.or.jp

HP:http://www.Mushikura.info

## ジビエ肉処理加工施設建設候補地の提案について

本年11月4日の住民自治連絡協議会理事会において、長野市いのしか対策課から、「長野市ジビエ振興計画」で整備を進める「ジビエ肉処理加工施設」の建設候補地の提案について、依頼がありました。

住自協では、支所と調整し、11月13日(日)に青木区において、牛首地籍(大平橋南西)を建設候補地として提案することについて協議し、地区の了解を得た上で、15日(火)に理事会並びに区長役員合同会議で候補地の提案を行うことを決定しました。

候補地の提案は、11月15日付けで提出しましたが、12月8日(木)の締切日までに市へ提案があった地区は、中条地区を含めて2地区で、1月中に市側の選定委員会で決定される予定です。中条地区としては、ジビエ肉処理加工施設を活用し、地域での雇用創出や特産品化による地域振興の実現を進めてまいります。

## 「住自協のNPO法人化」申請について

11月から各区で開催されている懇談会において、住自協の法人化について説明をしているところですが、10月に定款、設立総会議事録の謄本、平成28年度・29年度の事業計画と活動予算書等を県へ提出しました。その後、指摘箇所があったため理事会で協議修正し、12月14日を持って認証申請を終えました。

今後は、県の審査を受け、2カ月縦覧し問題が無ければ認証されます。



## 盛会に開催された 第10回信州むしくらまつり 11月3日(木・祝)

### 「むしくらまつり」を終えて

3日当日は好天に恵まれ、参加者約5,600人の大盛況なイベントが開催されました。

10回の節目ということで、特別企画の「熱気球の搭乗体験」を行い、早朝より大勢の来場者が整理券を求めて受付へ列をつくりました。強風により途中で中止となったことが残念でした。

また、今年は「アーティスト イン レジデンス」事業で2名の女性芸術家による作品の展示も行われました。ともすれば活気を失いがちなこの頃ですが、地域住民の手によって、これだけ盛大なイベントが開催されたことは活力のたまものと感謝申し上げます。運営関係者の熱意と努力、準備までのご苦労に感謝申し上げます。第11回開催を楽しみに、ご協賛いただいた企業、地区住民の方々、運営に携わったスタッフの皆様にお礼申し上げます。  
(地域振興部会長 宮島 勝則)



10月23日、「登山の部」として、31名の参加者と虫倉山登山を行い、紅葉を楽しんでいただきました。

来年は 1日上げたい  
熱気球



今年はやまば様になんで、「キンタロー。」さん、孫つなかりで「大泉逸郎」さんをゲストにお迎えしました。

## 山菜農園の開設を目指して

近年、中条地区においても、遊休・荒廃地が増加傾向にあります。こうした状況は、里山の景観を悪くし、地域のダメージにつながるとともに野生鳥獣の増加が懸念されます。

そこで本会は、少しでもこの荒れた土地を復活して、自然あふれる美しい景観を守り、合わせて中条を訪れる方にとって魅力となる、「山菜農園」を住自協とタイアップして整備していく計画です。

数年後には、やきもち家さんを拠点にした「山菜の収穫ツアー」をこの地区の目玉にできるように、ワラビや蓴の栽培に取り組みます。

(里山の景観を守る会 代表 宮脇末喜夫)



## 銀座NAGANOのイベントに行ってきました

住自協は、9月24日(土)、東京の銀座にある、長野県が運営する信州首都圏総合活動拠点「銀座 NAGANO」へ、中条の名人ら8名と中条地域のPRに行ってきました。

当日は、中条産の野菜に中条産の味噌をつけて試食してもらった「きき味噌」や、「にらせんべい」の試食、発酵マイスターによる味噌発酵の説明と、中条名人との味噌トークをメインとして行いました。

会場には150人ほどのご来場者がありました。

現在、住自協で取り組んでいる「中条サポーター養成事業」のPRも行い、これから大勢の方に中条とご縁を結んでいただき、交流人口の増に繋がれば、と思いました。

(事務局長 小林)



## 民生・児童委員のご紹介

中条地区では、17名の皆様が民生委員・児童委員として活動をしています。

この度の改選により、次の方が12月1日付けで委員に就任されましたのでご紹介します。

困りごとや心配ごとがある方は、お住まいの地域の委員にお気軽にご相談ください。

委員には守秘義務があり、秘密は厳重に守られますので安心してご相談ください。

なお、電話番号等の連絡先をお知りになりたい場合は、中条支所または福祉政策課までお問い合わせください。  
〔中条支所：268-3001、福祉政策課：224-5028〕

担当区域	(旧区名)	氏名	住所
五十里区	1	◎春日 喜美雄	市ノ瀬
長井区	2	本道 勝子	下長井
//	3・4	酒井 正子	東松ノ木
日下野東区	5	児島 則子	若神子
//	6	伊藤 時子	大崩
日下野区	7・8	松澤 朝光	大柿
中条平・中条中央区	9・10	小林 正成	大塩
中条平区	11	堀内 まゆみ	中条町
中条中央区	12	笠井 重光	蓬野
地京原区	13	堀内 勇人	下古沢
地京原区	14	吉澤 福人	倉本
伊折区	15・16	○新井 とし子	新井
青木区	17・18	西條 経治	青木
すめらぎ区	19・20・23	宮尾 幸子	花園
奈良井区	21・22	竹内 すみ子	持畔
		主任児童委員	宮下 俊樹
		主任児童委員	酒井 八千代

【◎印会長、○印副会長 敬称略・任期：H28.12.1～H31.11.30】



## 人権擁護委員のご紹介

任期満了に伴う中条地区の人権擁護委員に、長野市長の推薦で、新たに宮脇早志さんが法務大臣より10月1日付で委嘱されました。

人権擁護委員は、憲法で保障されている国民の基本的な権利(生命、自由及び幸福追求等の権利)が侵犯されることのないように監視し、もしこれが侵犯された場合には、その救済のため、速やかに適切な処置を採り、自由人権思想の普及高揚に努めることが使命となっています。

長野市内には、34名の人権擁護委員さんがいらっしゃいます。

日常生活の中での困りごとなど、「暮らしの中の悩み事相談所」などで、相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

## 総合防災訓練を行いました 9月4日

最近地震や台風、土砂崩落といった災害が、日本中で相次いで起きています。

「いざ」という時に我が身を守り、地域を守る行動を素早くとれるように、今年はすめらぎ区をメイン会場とした総合防災訓練を行いました。

住良木団地公民館では、早朝から日赤奉仕団や女性部による炊出しが行なわれ、安否確認表に基づいた避難訓練や煙道体験、AEDを使用した救急法などを研修しました。地元消防団の協力のもと、消火器による初期消火訓練や消火栓を使用する放水訓練では、子どもや女性たちが慣れないながらも真剣な眼差しで訓練をしていました。

どんな災害がいつ起こるかわかりません。

日頃から家族でも避難場所や連絡方法、非常持出袋の中身など確認をしましょう。(総務・安全防災部会)